

清泉女学院大学との打合せ概要

1 日時 令和6年7月2日(火)午後4時15分から午後5時45分まで

2 相手方 川北泰伸先生、学生の皆さん(1年生～3年生の12人)

3 概要

(1) 自己紹介、今回の意見交換会の目的、市議会や議員の役割などについて簡単に説明

(2) 意見交換会のテーマ及び意見交換会の名称について、学生の皆さんの御意見を伺う。

主な意見は、次のとおり

ア 投票率の向上に関するテーマへの意見

・議員と直接話ができるよい機会であり、議員から投票することのメリットも語られると思うので興味も湧く。学生を対象にするということは、こちらが本質で、議員はこれについて聴きたいのではないかと思う。

・投票に行く人と行かない人に、二極化してしまうのではないか。投票には行くべきだが、行かない理由を正直に答えられないと思う。また、「なぜ、投票に行かないのか」という問いだと、行かない人を責めているように受け取られかねない。

・大学生、高校生を対象とする場合、投票の機会がまだない人、そもそも投票権のない人も多く、答えられない。投票に行かない理由よりも、「投票に行きたくなる工夫は」といった問いにすべき。

・投票率の低下は全国的な傾向であり、これについて考えることはためになる。選挙の重要性について考える会にしたらどうか。

イ まちづくりに関するテーマへの意見

・誰でも気軽に参加できるという観点では、まちづくりの方が話しやすい。ただし、「住み続けたい長野市とは」という問いなら、長野市民でない人には関係ない話になってしまうので、長野市民でない人も話しやすい問いにすべき。

・ずっと長野市に住んでいると今の状態が当たり前で、不満な点しか思い浮かばない。他の自治体と比べるというよりも、「あなたの理想のまちとは」というように、自分の意見が言えるものがよい。

・夢物語とならないような説明の仕方が必要では。

ウ 上記ア及びイを踏まえての意見

- ・議員を身近に感じるためには、楽しくないといけない。レクリエーションの要素も必要ではないか。
- ・若者が投票に行かない理由の一つは、議員の公約が若者向けではなく興味が湧かないからだと思う。議員にやってほしいことは、どの自治体でもほぼ同じだと思うので、どんな公約を掲げた人に投票したいかなど、若者が注目する公約を考えるというのはいかがでしょうか。
- ・若者向けの公約を一緒に考えることで、若者自身も自分の暮らすまちを考えるきっかけになり、次の選挙に活かせるのではないか。
- ・意見交換会の名称は、テーマと同じものにした方が分かりやすい。

4 その他

- ・今後、議会活性化検討委員会の委員と学生さんとで、模擬意見交換会（ワールドカフェ方式）を行いたいので、川北先生と調整を行う。